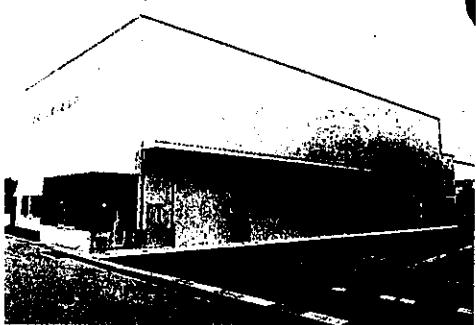


容量2倍の 処理槽導入

ユニゾーン 新工場棟が完成



(富山市綾田町、梅田ひろ美
社長)が本社に隣接する第8

工場敷地内に建設していた新
工場棟[写真]が完成し、来
月から本格稼働させる。従来
の約2倍の容量がある無電解
ニッケルめっき処理槽を導入
し、産業機械など大型部品の
需要増に対応する。投資額は
約8億円。

同社は2009年3月、北
陸最大級の無電解ニッケルめ
つき専用の工場(第8工場)

を整備した。その後、太陽電
池など環境エネルギー関連製
造装置の需要が増加、より大
型の部品受注にも対応するた
め、新工場棟を建設すること
にした。

新工場棟は2月に着工し、
建物面積約814平方㍍。処
理槽の容量は第8工場の2倍
に当たる約4万㍑で、国内有
数の規模という。重量約9・
5㌧の製品まで対応可能。薬
品の作用で処理する無電解ニ
ッケルめっきは、電気めっき
より均一な厚さで加工ができ
る。新工場棟稼働で、精密部
品から大型部品まで幅広い分
野の受注を取り込んでいく。